



Die Eiche ティ・アイヘ

Japanisch-Deutsche Gesellschaft der Präfektur Chiba

事務局 〒274-0822 船橋市飯山満町 2-518-1 清和会第2ワールドナーシングホーム
Tel 047-461-9111 Fax 047-461-7010

全独日協会連合会・独日協会アム・ニーダーライン

創立 50 周年記念行事に参加して 副会長 橋口 昭八



後方が会議会場の市庁舎
-2008 年当会 ドイツ旅行より

本年は、全独日協会連合会とデュッセルドルフに本拠を置く独日協会アム・ニーダーラインがそれぞれ創立 50 周年を迎え、デュッセルドルフが連合会総会の開催地に選ばれた。連合会会長の Dr. Vondran も 2000 年から 2007 年まで独日協会アム・ニーダーラインの会長を務められている。会期は 5 月 28 日 (水) から 5 月 31 日夕刻までであった。日本からは全日本日独協会連合会により参加ツアーが企画募集され、私もこの訪問ツアーの一員として参加した。因みにドイツには本年 3 月現在 51 の協会があり、連合会のメンバーであり、総会には 35 協会の代表が出席。これに対し日本には全国で 60 の協会があり、同じく連合会を形成している。日本側ツアーは公益財団法人日独協会(東京)の黒川剛理事(前デュッセルドルフ総領事、前クウェート大使、前オーストリア大使)を団長とし、東京、湘南(このツアーの立案者)広島、岐阜、横浜、群馬、大阪、千葉(橋口)から 27 名が参加

した。今回の行事にはデュッセルドルフ市が市庁舎内会議場を提供する等全面的にバックアップの印象を受けた。独日協会アム・ニーダーラインは 1964 年 11 月に設立されたが、同じ年の 1 月にデュッセルドルフ日本クラブが法人登録されている。1950 年代にルール重工業の中心であるデュッセルドルフに日本の製鉄会社と関連商社の進出が始まり、1964 年には日本企業数も 60 を超えに日本人の数も 600 に達していた。こういった中で日独企業代表が定期的に昼食会を持つようになり、独日協会設立に至ったものである。5 月 28 日到着後アルトシュタットの「Zum Schiffchen」で顔合わせの懇親会があり、Potsdam、Trier といずれも当会ドイツ旅行で世話になった代表と再会。5 月 29 日は独日協会アム・ニーダーラインの創立記念行事としてデュッセルドルフ西方約 100 キロにあるローマ時代の遺跡 Xanten までライン下り。生憎終日小雨模様で寒い天気だったが、250 人乗りの遊覧船で参加者同士飲食を楽しみながら、嘗て通ったルール製鉄基地をゆっくり眺めることができた。Hitzacker のご夫婦と同じテーブルで懇談。夜は NRW Invest との共同レセプション、日本外務省次官、州経済次官を初め来賓、最後に Vondran 会長の歓迎の辞、黒川団長が答礼された。5 月 30 日(金) 年次総会の公式プログラム、会議はすべて市庁舎の会議場、参加者のレジストレーション、エルバース市長の挨拶、Dr. Vondran の開会宣言があり、中根日本大使、州代表のスピーチ、昼は市長招待のインビス。そして午後は「学術文化」、「政治と経済」、「未来を担う若者」の分科会、私は「未来を担う若者」に参加して当会の研修生の短期受け入れの例を説明。16 時半から市内観光とホテルニッコー中庭で Louis Kniffler 初代日本駐箚ドイツ大使の銘版除幕式。19 時 30 分から塩崎総領事公邸で中根大使招待レセプションと続いた。5 月 31 日(土) 09 時 総会議事 定例的報告、次回総会はベルリン開催で決定。13 時 総会公式プログラム終了、後、バスでデュッセルドルフ郊外の LangenFoundation(現代美術館)と Dyck 水城見学、18 時 Dyck ワインハウスで夕食会-以上全プログラムと 4 日のお別れ会を通じ奮闘された主催の Franz 会長、マイト事務局長、若い男女ボランティアに敬意と謝意を表する次第である。6 月 1 日~3 日は近隣都市の視察研修の団体から離れ、総領事館、日本クラブ、独日協会事務局、市役所経済振興局を表敬と当会の千葉県への協力他当会の活動紹介、各所で「中世への旅-騎士と城」(平尾名誉会長翻訳書、署名入り)を記念贈呈した。

—今後の主な催し物案内—

1. ビール祭り

ドイツビールを飲みドイツ料理を食べビアソングを歌い楽しい・愉快的ひと時を過ごしませんか。

・日時：8月30日(土) 16:30~19:00

・会場：ドイツビアレストラン「マイネクライネ」
電話：03-3845-3488

(地下鉄都営浅草線蔵前駅A2又はA4出口より徒歩4分。又は、
地下鉄都営大江戸線「蔵前駅」A5出口より徒歩0分)

・会費：4,500円

・その他：既に参加申し込みは締め切りとなっておりますが、お問い合わせは須古常任理事まで。メール：sukol5921@nifty.com

2. 第22回ボトルシップ研究会

・日時：9月20日(土) 15:30~17:30

・場所：船橋市海神公民館 第4集会室

・問合せ：須古常任理事(携帯：080-1139-8544)

メール：sukol5921@nifty.com

多数のご参加をお待ちしています。

3. 市川ドイツデー

・日時：9月28日(日)市川コルトンプラザ

・当協会後援で協会ブースも出展致します。

4. 船橋オクトーバーフェスト

・日時：10月10日(金)~13日(月)

・場所：JR船橋駅 北口

・当協会後援で協会ブースも出展予定です。

5. 習志野ドイツフェア

・日時：10月18日(土)~19日(日)

・場所：津田沼公園(モリシア津田沼)

・当協会後援でブースも出展予定です。

(会員の活動)

◎会員加藤和子氏(名取名：藤蔭壽珠)、日本舞踊協会東京支部の「第34回城南ブロック舞踊会」に出演。

師匠の藤蔭壽女氏と共に出演されます。

・日時：8月17日(日)11:00~

加藤氏出演は14:00頃とのことです。

・演目：長唄 時雨西行

・場所：国立劇場・大劇場

・入場料：6,000円

お知らせ：年会費納入のお願い

7月末日現在で会費未納の皆さまに郵便振替票を同封しますので、早目にお振込の程、宜しくお願ひ申し上げます。

◎ドイツ研修旅行アンケート結果報告

旅行世話人：橋口・平井

掲題アンケートにご協力いただき有難うございました。アンケート回答を下記にご報告致します。更なるご意見を頂ければ幸いです。

A) アンケート回答結果

回答結果は下記の通りです。

・回答者総数：53名(会員総数130名、回答率：41%)

・以下53名の回答分析

① 今後実施しますか：は45名(85%)、いいえ8名

② 旅行先は：・ドイツ語圏及び隣接国：30名

・ドイツ国内限定：15名

③ タイミングは：2~4年毎又は特別なイベントがある時：44名

④ 日本デー：参加継続6名、参加はオプションに26名、独自プラン13名

⑤ 旅行代金：30万円以内14名、40万円以内24名、50万円以内5名、予算には縛られない2名

⑥ 上記が満たされた場合 参加するか：

その時点で考えたい：32名、参加したい：13名

B) 上記アンケート結果をベースとして、旅行委員会にて下記が討議されましたのでご報告します。

・この研修旅行は今後ともに実施したい。尚 過去4回の研修旅行ではドイツの代表的な訪問先はほぼカバーしていますが、第5回目以降は既訪問先を除外することなく、ドイツ国内のみならず、ドイツ語圏、隣接国も含め、出来るだけ安く仕上がる様な、而も魅力的な旅行プランを企画、提案したいと考えます。

・タイミングは2~4年間隔で、何かイベントが或る時に実施する事が考えられています。

千葉県日独協会は1996年6月に設立されており、2016年は20周年記念の年でもあり、'20周年記念研修旅行'として実施することもアイデアとして検討されています。

・旅行案は今後会員皆様からの意見・情報をもお聞きし、別途取り纏めの上、新たにご提案させて頂きたいと考えています。

◎チター演奏会(当協会後援)

主催者近藤貴子さん(当協会員)の自宅を会場として開催された。来客約60名強。当協会関係者は橋口副会長他7名。内藤敏子さんと Tonny Kyrion 氏のチター、Hana Fabry さんの歌唱、高山聖子さんのサウルハーブ(小型ハーブ。特別参加)による演奏会は、ドイツ、チロール地方のすがすがしい雰囲気音楽を奏でて、最後には演奏に合わせて全員での「夏の思い出」「ふるさと」の合唱で盛り上がった。

(常任理事 杉田房之)